

日々輝学園高等学校だより

=平成29年2月28日発行=

- (1) 「わかる・できる」という実感を大切に、「学ぶ力」を高めます。
- (2) 組織的・多角的なメンタルサポートで、「心の力」を引き出します。
- (3) さまざまな体験学習を通して、「社会とかかわる力」を培います。
- (4) 多様な進路指導を展開し、主体的に進路を選択する態度・能力を養います。



輝ちゃん

横浜校校長 森田 真 〒224-0041 横浜市都筑区仲町台 1-10-18 TEL(045)945-3778

Hp: <http://www.hibiki-gakuen.ed.jp> Email: yokohama@hibiki-gakuen.ed.jp

卒業、そして進級おめでとう、今ひとつきを大切に！

横浜校校長 森田 真

地域の中学校が主催するジョイント・コンサートと称する催し物があります。小学校と中学校の合唱部やダンス部、吹奏楽部などが生徒や保護者、地域の方々のために開催をしています。日々輝学園も軽音楽部や合唱部が参加をさせていただいていますが、今年は合唱部とダンス同好会が歌やダンスを披露しました。

合唱部は、二つの曲をしっかりと情感を込めて歌いあげてくれました。高校生らしいハートのある三部合唱だったと思います。特に女性の声を支える男性パートがたいへん素晴らしく、豊かな歌声の重なりを聞くことができました。

また、その後に登場したダンス同好会もとてもほほえましいものでした。林薫先生と田中陽輔先生と女生徒たちの競演でしたが、ヒップホップダンスを楽しく踊る姿は、全員が高校生のように見えました。見ていた大勢の小学生や中学生は二人の先生を、「カッコイイ男子高校生だなあ〜。」と思ったのではないのでしょうか。

さて、3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。それぞれの旅立ちとなりますが、これからが本当のスタートです。いろいろな困難に負けないで、一步一步自分の道を歩いていきましょう。心から応援をしています。

1年生、2年生の皆さん、進級おめでとうございます。これまでの1年間の努力、本当にご苦労様でした。その上での心配ですが、これで安心しないで、これからの高校生活に力を注いでください。ともすると大事な2年生や3年生の1年間で油断したためにふいにしてしまうケースがたまにあるのです。余計な心配ですね……。それでは卒業式、終業式などが続く年度末のいささか慌ただしい時期ではありますが、無駄に過ごさないように一日一日を大切に過ごしましょう。



☆2/24 (金) に学校の目の前にある「シーブ保育所」で保育実習の授業が行われました☆

● 平成28年度日々輝学園横浜校の学校評価についてご報告いたします

生徒・保護者の皆様より真摯な回答の数々をいただきました。日頃より本校の教育活動に深いご理解と温かなご協力をいただいている結果と感謝しています。誠にありがとうございます。

三つの項目に分けて設問を設定しましたが、設問のほとんどにおいて、皆様より本校の取り組みに関して肯定的な回答を多く得ることができました。ただ、幾つかの項目に課題を感じさせるものがありましたので、その点に焦点を当てて以下に述べてさせていただきます。

1. 学ぶ力について

「意欲的な授業の取り組み」については、皆様より80%の肯定的な回答をいただきました。楽しくわかりやすい授業が概ね行われていることを実感させています。今年度も教員複数配置のTT授業をいくつか行い、落ち着いた学習環境と個別の学習指導対応に成果が上がりました。

「家庭学習の習慣化と適切な宿題」に関して、生徒の多くから「宿題や課題があればきちんと取り組んでいる」との回答を得られていることを考えると、「適切な宿題」が家庭学習定着化への道筋となるでしょう。教員チームが宿題の質と量とを調整しながら宿題や課題を提示する、そうしたシステムを次年度に向けて作ってまいります。また、「積極的な検定への取り組み」に向けて日々輝塾担当者と共にクラス担任や教科担当が、今以上に個々の力量ある生徒へ呼びかけて生徒の意欲を喚起するようにいたします。何より楽しい授業、わかる授業、一人ひとりのニーズに応じた学習指導を今後一層工夫してまいります。

2. 心の力について

「安心して安定した学校生活」を送っていると感じている生徒が昨年度の70%代から今年度80%代と好転しています。さらに安心できる環境づくりを進めてまいります。「先生やカウンセラーが悩みの相談について親身に応じてくれる」との設問でも、生徒は85%と高く推移して、保護者様も86%と前向きな評価を下してくださいました。こうしたうれしい高評価を維持して、さらに100%に近づくように丁寧な指導としっかりとした体制を構築してまいります。

今年度は、カウンセラーと教員との連携が今まで以上に行われました。いくつかの研修などでも、教員に相談技術の更なる習得を求めると共に生徒理解をより深めるようにしてまいりました。高評価とは言いながら、「友人関係」や「安定した生活」については24%の生徒が何らかの不安を持っているという事実に着目をして、今後一層生徒に寄り添い自己肯定感の持てるような環境づくりを進め、個別面談の内容など再点検し、これまで以上に計画的に実行して支援を充実させまいります。

3. 社会とかかわる力について

「体験学習を通して生徒の成長を感じられる」について、皆様からは85%の評価をいただいておりますが、教員らは、まだその内容に改善の余地ありと感じています。その思いを形として、生徒にとってより良い体験学習の提供ができるように、具体的な提案を促すようにいたします。

進路指導では、教員の自己評価は高いのですが、それが自己満足とならないように、「進路情報の提供」については、その折々に最も必要に迫られている情報を密に提供するようにいたします。また、進路指導の3年計画を守り、適切な時期に適切な情報を提供できるように進路担当を中心として教員全体の知識と指導力と育成してまいります。

「ボランティア体験を通して生徒を高める機会を設けている」への回答は、生徒、保護者、教員共に大きくアップした昨年度をも上回りました。夏季のボランティア体験や地域清掃、花壇作りや地区センターや町内会の奉仕活動に多くの生徒が参加して教員もその活動を強く支援しました。今年度は、PTAや「おやじの会」にも生徒の活動をサポートしていただき、一緒にボランティア活動をする機会も増えました。今後とも、生徒らのボランティア活動が益々活発となり、彼らの社会性の伸長に大きな影響が与えられるようにしてまいります。

結びにあたりまして、あらためて学校評価への皆様のご協力に感謝を申し上げます。保護者の皆様より高い評価を得た項目などについて、これまで以上に教員が研修を深めて尽力し、今回の評価で課題と推察される項目についても丁寧な検証を踏まえつつ適切な取り組みを継続的行なっていく所存です。

保護者の皆様におかれましては、今後とも忌憚のないご助言をいただくと共に今一層のお力添えのほど、よろしくお願いを申し上げます。



● 1年生より

1年生のみなさんも、登校日が残り少なくなってきました。次の登校は、卒業式予行と卒業式です。卒業式は、卒業生が一人ひとり卒業証書を授与される厳かなものです。きちんとした服装・態度で、式に臨むようにしてください。先輩方を送り出す気持ちを大事にしながら、練習の成果を本番でぜひ見せてほしいと思います。卒業式に参加しながら、学年の先生たちは、みなさんが2年後にどのような立派な姿で卒業証書を手にするだろうかと思像すると思います。みなさんも2年後の自分の姿を想像してみてください。卒業式の日、晴れやかな気持ちでいるかどうかは、残り2年間の過ごし方にかかっていると思います。これからのみなさんが大きく成長することを期待しています。

そして、教室へ登校する日は3月7日、8日、15日のもう3日間しかありません。1年間慣れ親しんだ教室でクラスメートと過ごす時間を大切にしてほしいと思います。残り少ない登校日に欠席してしまっただけでは、もったいないと思いませんか。もうすぐ2年生になるという自覚を持って、残りの登校日を遅刻欠席することなく登校するようにしましょう。



● 2年生より

学年末試験が終わり、追試や補習期間も終了しました。高校生として、進級に必要な要件を満たすことができたでしょうか。昨年度の自分と比べて、試験や補習への取り組み方はどうだったでしょうか。2年生になり、科目数も増え、勉強の難易度も上がってくる中で、苦勞をした人も多かったと思います。しかし、残すはあと1年間です。3年生になると、レポートや補習の期限がいままでよりも早くなります。これまでよりも出席や締め切りを意識しなくてはなりません。後でちゃんとやっておけば後悔しないよう、もう一度気持ちを引き締めて、全員での卒業を目指していきましょう。

さて、いよいよ残すは数日の登校日のみとなりました。その中でも注目すべきは、3月3日（金）に行われる卒業式でしょう。みなさんは昨年の卒業式を覚えていますか。昨年は高校生になって初めての卒業式でした。何気なくそこにいたという人もいたでしょう。しかし、今回は2回目です。そして、来年はみなさんがその場に主役として立つ番です。先日の式練習では、さすが2年生と思わせる立派な態度でした。本番での3年生の雄姿をしっかりと見て学び、在校生の代表として無事に送り出しましょう。



● 3年生より

高校生活、どのような3年間でしたか。学業に力を入れた人、部活動を楽しんだ人、友人関係を広げた人、アルバイトをがんばった人、様々なことにチャレンジした3年間だったのではないのでしょうか。高校に入学してくる前の自分を想像してください。その時の自分と今の自分を比べてどれくらい成長を感じていますか。みなさんは3月3日、日々輝学園高等学校を卒業します。4月からは、大学生、専門学校生、社会人として他の高校生と同じスタートラインに立ちます。今までは日々輝学園高等学校のルールの中で生活することができていました。しかし、卒業後は社会のルールで生活していくことになります。世間は厳しいものと言われます。確かに遅刻、欠席は簡単にできなくなるでしょう。自分でのった行動、言ったことには自分で責任を負わなければいけません。怒られ、叱られることもあるでしょう。イヤだ、辞めたいと思うこともあると思います。諦めず、グッと我慢し、それら厳しき一つひとつを成長の糧と思い、日々を過ごしてほしいと思います。

高校卒業後は、自分で選んだそれぞれの道に進みます。楽しくするのも、つまらなくするのも自分次第、考え方ひとつです。何事にも興味を持って楽しめる気持ちでいてください。本当に、卒業おめでとうございます。

